

データベース「マアガリム」
ヘブライ語歴史辞典としての特徴
-ヘブライ文学、ヘブライ語研究の新しい方法-
The Database “Ma’agarim” – As the Historical Dictionary of
the Hebrew Language
A New Approach for Hebrew Literature and Language

阿部望*

Nozomi Abe

Email: noach@h4.dion.ne.jp

イスラエルの「ヘブライ語アカデミー」は1959年1月2日、「ヘブライ語歴史辞典プロジェクト」の制作事業に着手した。このプロジェクトの最終目的は「ヘブライ語歴史辞典」の編集で、ヘブライ語の歴史が始まってから現代までの言語資料を網羅するものである。この辞典執筆までの準備として次の二つの目標を掲げた。1つは、辞典の基礎資料となる「マアガリム」と呼ばれるデータベースの作成とデータベースが扱う範囲の決定である。2つ目は、古代から現代までのヘブライ語資料を収集である。以前は辞典編集委員しかアクセスの権利を持っていなかったが、2005年よりそのデータベースの一部、紀元前200年から紀元1050年までの部分を、インターネット上に一般公開をした。この公開によって、ヘブライ文学、ヘブライ思想、ヘブライ語の研究内容と質が大きく変化した。それまで限られた人だけ、あるいは大学図書館や研究所でしか目にする事ができなかった各種写本や初版本の内容を、ネット上で確認可能となり、データ抽出や検索ができるようになったからである。現在では「マアガリム」による確認作業抜きで、ヘブライ文学や言語が研究されることはないと言ってもよい。

本稿の目的は、「ヘブライ語アカデミー」とはどのような機関であるかを解説し、このアカデミーが制作しつつある「ヘブライ語歴史辞典」の内容と規模、さらに一般公開されたオンライン・データベースの特徴と使用法を解説するものである。

On 2 January 1959, the Academy of the Hebrew Language decided to create the Historical Dictionary Project (HDP). The final aim of this project is to edit the Historical Dictionary of the Hebrew Language which will encompass the entire Hebrew lexicon and its uses throughout its history from its first appearance in written texts until the present. Before the Dictionary writing could begin, the HDP had to undertake two tasks: (1) preparing the database of the Dictionary which is called "Ma'agarim (= Database)" and determining its scope, and (2) assembling the sources, on which the Dictionary would be based. Before, only the dictionary editing committee had had access to the database. However, a part from the database, 200 B.C.E. to 1050 C. E. was opened to the public in 2005. Consequently, the study of Hebrew literature and language changed greatly in content and quality. Until now, few were able to confirm various manuscripts and the contents of first editions at university libraries and research centers. Today, anyone can do research on a net. It might even be said that the study of Hebrew literature and a language are not valid without first consulting the "Ma'agarim".

The purpose of this article is to explain the structure of "The Academy of the Hebrew Language"; to comment on the contents and the scale of "Ma'agarim", and finally, to define the characteristics of the online database.

*: 獨協大学国際教養学部

1. ヘブライ語アカデミーとは

イスラエルの「ヘブライ語アカデミー」とは1890年から設立されている「ヘブライ語委員会」を実質的に継承した組織で、現代ヘブライ語における新しい用語の建議、答申、決定を軸とした国語政策の実施、ヘブライ語の質的維持と研究、並びに純化を目的として設立された機関である。1953年、イスラエル国会によって承認された「ヘブライ語最高機関関連法」に基づいて当機関が設立された。

設立に際してモデルとなった機関はフランスの「アカデミー・フランセーズ」であり、同機関同様に辞書の編纂を重要な任務としている。「ヘブライ語最高機関関連法」¹と「ヘブライ語アカデミー定款」²からその性格を垣間見ることにする。

「ヘブライ語最高機関関連法」

- 1条 ここにヘブライ語学の最高機関である国語アカデミーを設立する。その名称は、当機関によって制定されるものとする。
- 2条 当機関はヘブライ語の各時代、各分野の国語研究に基づき、ヘブライ語発展の方向を決定することを任務とする。
- 8条 当機関定款の変更ならびに訂正は、文化教育大臣の許可を必要とし、その旨は公報に発表される。
- 12条 当機関の定款施行日をもって、ヘブライ語委員会の全ての権利、資産、義務が当機関に移行され、ヘブライ語委員会は廃止される。

「ヘブライ語アカデミー定款」(1954年)

1 名称

「ヘブライ語最高機関」の名称は、「ヘブライ語アカデミー」とする。

2 当アカデミーの任務

- a ヘブライ語の全時代、全階層の単語を収集、研究する。
- b ヘブライ語構造の研究を行い、その発展史と発展経路を明らかにする。
- c ヘブライ語の自然な発展、必要かつ可能な発展の方向づけを、単語の意味、文法、文字、表記法、発音というすべての分野において行う。

上記定款を受けて、1954年ヘブライ語アカデミー第8回総会は、出版社 Mosad Bialik (The Bialik Institute)と契約を結び、「ヘブライ語アカデミー・ヘブライ語歴史辞典」の制作を正式に決定した。

2. 「ヘブライ語歴史辞典」製作段階

1956年、「ヘブライ語歴史辞典」初代編集長に選出されたベン・ハイム (Ze'ev Ben-Hayyim, 1992年まで編集長)は、編集着手に先だって、ヨーロッパ各地(エジンバラ、オックスフォード、パリ、ミュンヘン、ウェールズのアベリストウィス)の歴史辞典編集状況を視察後、当時としては画期的だったコンピュータによる辞典編集を提案した。これはフランス革命期から現代までのフランス語を収録した仏々歴史辞典 Trésor de la Langue Française³をモデルにした結果である⁴。さらにベン・ハイムは、聖書ヘブライ語辞典のように限られたテキストの辞典やミシガン大学の The Middle English Dictionary のように対象となる時代が限られた辞典ではなく、Oxford English Dictionary のように歴史上使われた全ての単語を収録する総括的歴史辞典の編集を提案し、1959年の総会において承認された。そして本総会は、次の3段階を提案した。

- 第1段階 歴史辞典が扱う資料文献の決定、文献初出年代、オリジナル写本ならびに基礎写本の決定⁵、文献歴史年表の作成、文献表の発表
- 第2段階 文献上の語義区分に従った用例収集、必要に応じて、新資料の発掘と校訂本の作成、語義区分と分析に即したコンコーダンスの作成
- 第3段階 歴史辞典の執筆

第1段階では、「資料は可能な限り正確に」という観点から、印刷技術が広まる以前にすでに存在し、その言語と内容が原本に近いと判断される写本の中から用例を集めることになった。そこでま

³ Trésor de la Langue Française, Dictionnaire de la langue du XIXe et du XXe siècle, 16 vols, Paris, Klincksieck, CNRS, 1971-1994.

⁴ Ben-Hayyim, Z. 「ヘブライ語アカデミー・ヘブライ語歴史辞典製作に向けて」、Leshonenu 23, Jerusalem, p.106. (1959) [in Hebrew]

⁵ 写本の扱いについては、The Middle English Dictionary の方法論も参考にした。Sefer Ha-Mekorot, Part one, Second Edition, The Academy of the Hebrew Language, Jerusalem, P. 10 (1970).

¹ 1963年6月14日に建議され、同年8月27日イスラエル国会において承認、同年9月6日に発表。

² 1954年8月5日付

ずどの写本が資料文献として最も相応しいかを決定し、年代を定めるという高度な学問的作業に着手することになった。この作業自体がすでにハイレベルな学問分野であることは言うまでもない。この作業にリストアップされた写本は、第2段階において全文データ入力され、その全ての語について語義区分、文法分析が付加され、辞典執筆の基礎資料としてコンピュータ分析が可能な環境を作ることが決定された。またこの準備段階において、資料文献は文学的価値とは無関係に、ユダヤ人の歴史において過去に使用された全ての単語を収録するという原則も定められ、収集作業が行われた。

第3段階の辞典執筆は、全ての単語の語源と意味を表記するに留まらず、意味変化の軌跡と使用法の発展の経路、形態の変化も合わせて表記することが決められた。コンピュータ分析という方法を導入したことにより、新しい資料を次々と追加してもオートマチックに分類され、常に最新のデータ抽出が可能になったのである。このデータベースが「マアガリム（貯蔵所の意味）」と呼ばれ本論文のテーマである。⁶

3. 収録文献の種類

「ヘブライ語アカデミー」がまず研究目標に設定した時代は、紀元前200年から紀元後11世紀までの文献である。現在「マアガリム」に収録されている文献を種類によって分類すると、以下のようになる。(2010年現在)

文献の種類	作品数	延べ単語数
死海文書等（断片も含む）	195	62,955
各種碑文	190	3,845
タルムード、ミドラッシュ文学	390	5,571,863
借用証書、経済文書、聖書写本やその他の写本の奥付け、その他	275	6,676
ヘブライ語文法、マソラー文学、ヘブライ語辞書	18	152,634
「ゲオニーム文学」 ⁷	78	599,692

⁶ 『ヘブライ語アカデミー・ヘブライ語歴史辞典』の試作版は、Leshonenu 46, Jerusalem, The Root ערך. (1982) [in Hebrew] に発表された。

⁷ 6世紀の『バビロニア・タルムード』編纂以降から、1038年に死去した指導者ハイ・ガオンまでの時代を指し、その宗教指導者たちは「ゲオニーム」と呼ばれた。

ゲオニーム時代の「レスポンサ文学」 ⁸ 、書簡	1,000	333,741
ゲオニーム時代のタルムード注解	69	53,013
科学	8	20,822
ビュート詩文学 ⁹	736	1,069,465
ビュート詩文学（作者不詳）	1,596	426,568
スペイン詩文学 ¹⁰	1,841	55,628
カライ派文学 ¹¹	63	721,823
作品総数	6,459	
延べ単語総数		9,078,725

4. 資料文献の時代区分

紀元前200年から紀元後11世紀までの文献から資料収集を始めたということは、旧約聖書編纂後の文献から着手したという意味である。紀元前200年以前のヘブライ語文献と言えば旧約聖書であり、この研究は広くクリスチャン世界でも行われ、すでにコンコーダンスや辞典、そして文法書が整っている。これに対して聖書時代以降、特に紀元600年までの時代は、ユダヤ教とユダヤ文化の性格を決定づけた時代と定義することができ、ユダヤ思想の根幹となるラビ文献、『ミシュナー』、『タルムード』、『ミドラッシュ』など多くの作品が創作、編纂された。もちろん旧約聖書がユダヤ思想の基盤であるが、ユダヤ人の民族としてのアイデンティティー形成は、むしろ聖書時代以降にあると考えられるからである。さらに、紀元前200年から紀元600年までのヘブライ語研究は、20世紀後半に飛躍的な進歩を遂げ、現在でも新たな写本の発見、校訂本の出版、研究の発表が続けられている。この日進月歩の分野に関する研究現状を一人の研究者が全てを把握し、関係資料を集め

⁸ 各地のユダヤコミュニティで直面したユダヤ律法の問題を、バビロンのゲオニームたちが手紙形式の回答書を書いて書き送った手紙形式による宗教律法文学。

⁹ ユダヤ教の宗教儀式のために作られた典礼詩文でイスラエルの土地において5世紀頃から作られ始め、その後スペインや南フランスのコミュニティでも創作活動が継続された詩文学。

¹⁰ 紀元後の8世紀のウマイヤ朝時代から、1492年にナスル朝の首都グラナダが陥落するまでの時代に、イベリア半島のコルドバを中心に広大なイスラム文化圏が存在した。この文化圏で10～13世紀にユダヤ詩文学が発展し、それまでの宗教詩とは違って、アラビア語詩の韻律テクニックを取り入れ、「宗教詩」だけではなく、人生の喜びや悲しみを歌った「世俗詩」も創作されるようになった。

¹¹ 旧約聖書とタルムードを中心とした口伝律法の権威を認めるラビ・ユダヤ教に対抗した分派で、旧約聖書の権威のみを認める。起源は8世紀のバビロンで、10～11世紀には最も発展した。

ることはほとんど不可能である。しかし「マアガリーム」は、これらの研究成果を集約させてネット上に公開しているため、書籍や写本という形の資料が手許に無くても、各種写本や初出本などの確認が可能であり、現段階で最も質の高いヘブライ語資料を入手することができる。ヘブライ語研究、ヘブライ文学研究の分野では絶大な価値を持っていると言え、「マアガリーム」を確認することなしには、研究は成立しないと言っても過言ではない。

このデータベース作成に当たって、選出された資料は以下の時代区分表のように分類され、整理された。旧約聖書がその資料の大部分となる時代区分 A と B は、先に述べた理由のゆえに、データベース化の必要に迫られていないと判断され、一時ではあるがデータ化の対象から除外された。データベース化の最優先年代として選ばれたのが、時代区分 C から G である。この時代は、ユダヤ思想の根幹をなすがゆえに、正確な写本に基づく基礎テキストのデータ化が一番求められているからである。

A	第一神殿崩壊まで (B.C.586 年)
B	旧約聖書編纂まで (紀元前 200 年) ¹²
C	紀元前 200 年から紀元 0 年まで
D	紀元 300 年まで (タナイーム時代)
E	紀元 600 年まで (アモライーム時代)
F	600 年から 800 年まで
G	800 年から 1050 年まで

5. 「マアガリーム」の単語数

時代区分 C から G までの資料を基に決定された辞典の単語総数、つまり意味解説と文法分析、資料文献からの使用例が付された単語総数は以下の通りである。ただし、資料文献中のアラム語は単語総数には含まれ、使用例の引用は付されるが、意味と文法分析はなされなかった。

単語総数	
意味解説と文法分析が付された単語総数	5,803,429
ヘブライ語以外の単語であるため、	2,477,670

¹² 旧約聖書編纂の年代は正確には分かっていない。ここで言う紀元前 200 年とはあくまでも推定年代であり、聖書テキストは原則として除外するという意味である。1947 年以降、死海沿岸や周辺砂漠で発見された死海文書は、紀元前 200 年以前と推測される写本であるが聖書外資料であれば採用された。

意味と文法解説が付されなかった
単語総数¹³

現在は 1750 年から 1920 年までのデータを統合する作業も始まっており、「マアガリーム」はすでに膨大な資料をデータ化していると言える。本稿では、ユダヤ思想の根幹部分である時代区分 C と D と E にポイントを絞って見ていくことにする。

6. 文献と基礎写本一覧

6.1 時代区分 C

時代区分 C の主なユダヤ文献、ならびに選出された基礎写本は以下の通りである。

『ベン・スィラー書』 Ben Sira	
	編集年代：紀元前 180 年 延べ単語数：12,780
写本 1 (ゲニザ写本 A, B, C, D)	Ecclesiasticus, the Fragments hitherto Recovered of Hebrw Text in Facsimile, Oxford and Cambridge 1901.
写本 2	The Ben Sira Scrolls from Masada, 1965
死海文書 The Dead Sea Scrolls	
神殿写本	The Temple Scroll 編集年代：紀元前 100 年以前 延べ単語数：10,016
ヨベル書	Book of Jubilees 編集年代：紀元前 63 年以前 延べ単語数：939
ダマスコ文書	Damascus Document 編集年代：紀元前 30 年以前 延べ単語数：4,641
共同体の規則	The Rule of the Community 編集年代：紀元前 30 年以前 延べ単語数：5,303
戦いの巻物	The War Scroll 編集年代：紀元前 30 年以前 延べ単語数：6,188
イザヤ書注解	Isaiah Pesher 編集年代：紀元前 30 年以前 延べ単語数：1,534
銅の巻物	The Copper Scroll 編集年代：0 年～100 年

¹³ ラビ文献にはアラム語が多く含まれる。

	延べ単語数： 946
感謝の詩篇	The Hymns
	編集年代： 0 年～200 年
	延べ単語数： 8,554
ハバクク書 注解	Habakkuk Peshar
	編集年代： 0 年～200 年
	延べ単語数： 1, 461
紀元 1 ～ 2 世紀の書簡（バル・コフバ書簡） ¹⁴	
発見場所と分類番号	
Murabbaʿat 2	編集年代： 63 年
	延べ単語数： 149
Murabbaʿat 42	編集年代： 132 年～135 年
	延べ単語数： 96
Murabbaʿat 24	編集年代： 134 年
	延べ単語数： 464
Naḥal Ḥever 45	編集年代： 134 年
	延べ単語数： 172
Naḥal Ḥever 46	編集年代： 134 年
	延べ単語数： 183
Naḥal Ḥever 49	編集年代： 132 年～135 年
	延べ単語数： 98

6.2 時代区分 D

時代区分 D の主なユダヤ文献、ならびに選出された基礎写本や初版本、初期の版は以下の通りである。以下の一覧表は、信頼のおける写本がどれであるかという情報も合わせて提供してくれる。以下の写本に付加された年代は写本そのものが書かれた年代であって、文献編集の年代ではない。また写本の名称は Codex や Manuscript などの部分を省略して表記するものとする。

『ミシュナー』	Mishna
	編集年代： 200 年～250 年
	延べ単語数： 188,485
写本 1	Kaufmann A50, 1150 年
写本 2	Parma “A” De Rossi 138, 1100 年
写本 3	Cambridge Add.470,1 ,1465 年
初版本	ナポリ版 1492 年
オンライン・ダウンロード、1492 年版	
http://www.hebrewbooks.org/11594	
ネット上に公開されている写本	

¹⁴ 紀元 132 年～135 年ユダヤ人がローマ支配体制に反乱「第 2 次ユダヤ戦争（別名：バル・コフバの反乱）」を起こした時の書簡。主に「ムルバアット」と「ナハル・ヘベル」というワジ（雨季にのみ水が流れる川）のほとりから見つかった。

http://jnul.huji.ac.il/dl/talmud/	
『トセフタ』	Tosefta
	編集年代： 0 年～300 年
	延べ単語数： 304,079
写本 1	Vienna 46, 1340 年
写本 2	Erfurt Or. fol.1220, 1150 年
初版本	ナポリ版 1521 年
『スィフラ』	Sifra
	編集年代： 0 年～300 年
	延べ単語数： 123,228
写本 1	Vatican 66, 950 年
写本 2	Vatican 31,1, 1073 年
初版本	コンスタンティノーブル版 1510 年
	ヴェニス版 1550 年
ネット上のヴェニス版 PDF	
http://www.daat.ac.il/daat/vl/tohen.asp?id=145	
『スィフレ・ベミッドバル』 ¹⁵	Sifre Bamidbar
	編集年代： 0 年～300 年
	延べ単語数： 55,541
写本 1	Vatican 32, 10 世紀
初版本	ヴェニス版 1546 年
『スィフレ・デヴァリム』	Sifre Devarim
	編集年代： 0 年～300 年
	延べ単語数： 71,725
写本 1	Vatican 32, 10 世紀
写本 2	Oxford 151, 1291 年
写本 3	London 341, 1150 年
初版本	ヴェニス版 1546 年
『スィフレ・ズータ』	Sifre Zutta
	編集年代： 0 年～300 年
	延べ単語数： 21,089
写本 1	Oxford 2637, 1307 年
校訂本	H.S. Horovits 版, 1917 年
オンライン・ダウンロード、1957 年版	
http://www.hebrewbooks.org/14529	
『メヒルタ・デラビ・イシマエル』	Mekhilta de-Rabbi Ishmael
	編集年代： 0 年～300 年
	延べ単語数： 75,197
写本 1	Oxford 151, 1291 年
写本 2	Munich 117, 1435 年
初版本	コンスタンティノーブル版 1515 年
	ヴェニス版 1545 年
オンライン・ダウンロード、1545 年版	

¹⁵ 正式名称は『スィフレ・ベミッドバル』だが、ユダヤ世界では一般的に『スィフレ・バミッドバル』と呼ばれる。

http://www.hebrewbooks.org/24519	
写本間の異読照合 (バルイラン大学)	
Primary Textual Witnesses to Tannaitic Literature	
http://www.biu.ac.il/JS/tannaim/mekhilta/	
『メヒルタ・デラビ・シモン・ベン・ヨハイ』 Mekhilta de-Rabbi Shimon	
	編集年代: 0年~300年
	延べ単語数: 44,983
写本 1	ゲニザー断片
写本 2	Leningrad, Firkowits b-268
校訂本	Epstein-Melamed 版 1979年
オンライン・ダウンロード、1979年版	
http://www.hebrewbooks.org/14131	
『セデル・オーラム・ラバー』 Seder Olam Rabbah	
	編集年代: 0年~300年
	延べ単語数: 14,188
写本 1	Parma 117, 1344年
初版本	コンスタンティノーブル版 1517年
オンライン・ダウンロード、1757年版	
http://www.hebrewbooks.org/20383	
『メヒルタ・リデヴァリーム』 Mekhilta le-Sefer Devarim	
	編集年代: 0年~300年
	延べ単語数: 5,621
写本	ゲニザー写本
『バライタ・デメラハット・ハミシュカン』 Baraita on the Erection of the Tabernacle	
	編集年代: 0年~300年
	延べ単語数: 4,018
オンライン・ダウンロード、1802年版	
http://www.hebrewbooks.org/23780	
『バライタ・デラメッド・ベート・ミドット』 Baraita on the Thirty-two Rules	
	編集年代: 0年~300年
	延べ単語数: 250

6.3 時代区分 E

時代区分 E の中で選出された主な基礎写本、初版本、校訂版は以下の通りである。

『エルサレム・タルムード』 Jerusalem Talmud	
	編集年代: 400年~450年
写本 1	Leiden Scalinger no.3, 1289年
写本 2	Vatican 133, 1275年
初版本	ヴェニス版 1523年

ベラホット篇	写本 1, 延べ単語数: 39,751
ベアー篇	写本 1, 延べ単語数: 18,487
デマイ篇	写本 1, 2, 延べ単語数: 14,921
キル AIM 篇	写本 1, 延べ単語数: 16,344
シェヴィイット篇	写本 1, 延べ単語数: 18,370
テルモット篇	写本 1, 延べ単語数: 22,741
マアスロット篇	写本 1, 延べ単語数: 9,893
マアセル・シェニー篇	写本 1, 延べ単語数: 12,883
ハラール篇	写本 1, 延べ単語数: 9,993
オルラール篇	写本 1, 延べ単語数: 8,570
ビクリム篇	写本 1, 延べ単語数: 6,554
シャバット篇	写本 1, 延べ単語数: 44,353
エルヴィン篇	写本 1, 延べ単語数: 23,309
ペサヒム篇	写本 1, 延べ単語数: 31,762
シェカリーム篇	写本 1, 延べ単語数: 15,379
ヨマー篇	写本 1, 延べ単語数: 21,700
スカー篇	写本 1, 延べ単語数: 11,288
ベツァール篇	写本 1, 延べ単語数: 10,350
ロッシュ・ハシヤナー篇	写本 1, 延べ単語数: 10,640
タアニート篇	写本 1, 延べ単語数: 18,295
メギラー篇	写本 1, 延べ単語数: 18,311
モエッド・カタン篇	写本 1, 延べ単語数: 13,880
ハギガー篇	写本 1, 延べ単語数: 12,894
イエヴァモット篇	写本 1, 延べ単語数: 39,093
ケトゥヴォット篇	写本 1, 延べ単語数: 32,878
ネダリム篇	写本 1, 延べ単語数: 16,570
ナズィール篇	写本 1, 延べ単語数: 20,328
ソター篇	写本 1, 延べ単語数: 23,971
ギティン篇	写本 1, 延べ単語数: 21,815
キドウシン篇	写本 1, 延べ単語数: 26,347
バヴァ・カマ篇	写本 1, 延べ単語数: 12,898
バヴァ・メツィア篇	写本 1, 延べ単語数: 11,604
バヴァ・バトゥラ篇	写本 1, 延べ単語数: 11,484
サンヘドリン篇	写本 1, 延べ単語数: 36,079
マコット篇	写本 1, 延べ単語数: 2,912
シェヴオット篇	写本 1, 延べ単語数: 17,351
アヴォダー・ザラール篇	写本 1, 延べ単語数: 18,844

ホラヨット篇	写本 1, 延べ単語数: 9,523
ニダー篇	写本 1, 延べ単語数: 6,790
『バビロニア・タルムード』 Babylonian Talmud 編集年代: 500 年	
写本 1	Hamburg 165, 1184 年
写本 2	Göttingen 3, 13 世紀
写本 3	Oxford 366, 15 世紀
写本 4	Oxford 2677, 16-17 世紀
写本 5	Munich 6, 12 世紀中
写本 6	Munich 95, 1342 年
写本 7	Munich 141, 15 世紀
写本 8	New York JTS Enelow 271, 1560 年以降
写本 9	Jerusalem Yad Rav Herzog 17 世紀
写本 10	Paris 1337, 15 世紀
写本 11	Vatican 109, 1326 年以前
写本 12	Vatican 113, 13 世紀
写本 13	Vatican 130, 1381 年 (推定)
写本 14	Vatican 122, 13 世紀中
写本 15	Florence 7, 1176 年
写本 16	Columbia X893-T141 1546 年
写本 17	Vatican 111, 1381 年
写本 18	Oxford 2673, 8 Heb. B.1 1123 年
写本 19	Leningrad Firco. 1-187, 1323 年?
写本 20	Paris AIU 2-147a, 13 世紀前半
写本 21	Vatican 487, 11, 13-14 世紀
写本 22	Moscow Ginsb. 1134, 14 世紀
写本 23	Oxford 2675, 2. 13 世紀後半
写本 24	New York JTS Enelow 270, 1618 年
写本 25	Vatican 120, 13 世紀
写本 26	Vatican 140, 14 世紀
初版本	ヴェニス版 1521 年
ベラホット篇	写本 3, 延べ単語数: 66,868
シャバット篇	写本 3, 延べ単語数: 122,668
エルヴィン篇	写本 11, 延べ単語数: 65,238
ベサヒーム篇	写本 8, 延べ単語数: 78,894
ヨマー篇	写本 5, 延べ単語数: 54,096
スカー篇	写本 24, 延べ単語数: 27,385
ベツァー篇	写本 2, 延べ単語数: 24,727
ロッシュ・ハシヤナー篇	写本 24, 延べ単語数: 21,069
タアニート篇	写本 9, 延べ単語数: 22,499
メギラー篇	写本 1 6, 延べ単語数: 30,701
モエッド・カタ	写本 1 6, 延べ単語数: 22,223

ン篇	
ハギガー篇	写本 5, 延べ単語数: 17,794
イエヴァモット篇	写本 7, 写本 17, 延べ単語数: 81,952
ケトウボット篇	写本 19, 延べ単語数: 71,932
ネダリーム篇	写本 6, 延べ単語数: 30,487
ナズィール篇	写本 22, 延べ単語数: 24,246
ソター篇	写本 23, 延べ単語数: 36,132
ギティン篇	写本 13, 延べ単語数: 56,495
キドウシン篇	写本 17, 延べ単語数: 57,715
バヴァ・カマ篇	写本 1, 延べ単語数: 83,829
バヴァ・メツィア篇	写本 1, 延べ単語数: 77,994
バヴァ・バトウラ篇	写本 1, 延べ単語数: 83,488
サンヘドリン篇	写本 9, 延べ単語数: 100,169
マッコット篇	写本 9, 延べ単語数: 15,035
シェヴォット篇	写本 25, 延べ単語数: 28,611
アヴォダー・ザラ一篇	写本 10, 延べ単語数: 49,429
ホラヨット篇	写本 10, 延べ単語数: 11,380
ゼヴァヒーム篇	写本 16, 延べ単語数: 67,828
メナホット篇	写本 20, 延べ単語数: 66,301
フリン篇	写本 14, 延べ単語数: 88,209
ベホロット篇	写本 15, 延べ単語数: 37,458
アラヒン篇	写本 25, 延べ単語数: 21,781
テムラー篇	写本 15, 延べ単語数: 22,226
ケリット篇	写本 18, 写本 15, 延べ単語数: 25,632
メイラー篇	写本 15, 延べ単語数: 6,581
タミッド篇	写本 15, 延べ単語数: 2,562
ニダー篇	写本 12, 延べ単語数: 47,969

ミドラッシュ文学(編集年代: 300 年~600 年)

『ベレシット・ラバー』 B'reshith Rabba
写本 1 Vatican 30, 11 世紀
写本 2 Vatican 60, 10 世紀中頃 延べ単語数: 136, 705 オンライン・ダウンロード、1689 年版 http://www.hebrewbooks.org/49421
『ヴァイクラー・ラバー』 Vayikrah Rabbah
写本 Leningrad 340-2, 12 世紀 延べ単語数: 68, 270
『ペスィクタ・デラヴ・カハナ』 Pesikta de-Rab Kahana
写本 Oxford 151, 1291 年 延べ単語数: 81,051 オンライン・ダウンロード、1913 年版

http://www.hebrewbooks.org/14356
『ルット・ラバー』 Rut Rabbah
写本 Oxford 164, 1513 年
延べ単語数: 11,827
『コヘレット・ラバー』 Kohelet Rabbah
写本 Vatican 291, 11, 1417 年代
延べ単語数: 48,398
『エハー・ラバー』 Eichah Rabbah
写本 Munich 229, 1295 年
延べ単語数: 38,046
オンライン・ダウンロード、1899 年版
http://www.hebrewbooks.org/33182
『アヴォット・デラビ・ナタン』 A 版
Avot de-Rabbi Nathan
写本 Vatican 303, 12, 1500 年代
写本 New York 25, Rab.
初版本 ヴェニス版 1545 年
校訂本 シェヒター版、ウィーン、1887 年
延べ単語数: 30,947
『アヴォット・デラビ・ナタン』 B 版
写本 Parma 327, 1540 年
延べ単語数: 27, 794
オンライン・ダウンロード、1887 年版
http://www.hebrewbooks.org/38247
『ヘハロット・ラバティ』 Hekhalot Rabati
写本 Vatican 228, 15 世紀
延べ単語数: 8, 123
『セフェル・ヘハロット・ハノフ』
Sefer Hekhalot Khanokh
写本 Vatican 228, 15 世紀
延べ単語数: 10, 738
『シェヴァ・マセフトット・クタノット』
写本 Add. 2237
延べ単語数: 5, 952
オンライン・ダウンロード、1815 年版
http://www.hebrewbooks.org/35085
『デレフ・エレツ・ラバー』 Derekh Erets Rabbah
写本 Kaufmann A50, 1150 年
延べ単語数: 4,908
オンライン・ダウンロード、1903 年版
http://www.hebrewbooks.org/36479
『デレフ・エレツ・ズータ』 Derekh Erets Zutta
写本 Oxford 896, 1203 年
延べ単語数: 4,184
オンライン・ダウンロード、1870 年版
http://www.hebrewbooks.org/33827

『マセヘット・カラー』 Masekhet Kalla
写本 Munich 95, 1342 年
延べ単語数: 1,907
オンライン・ダウンロード、1789 年版
http://www.hebrewbooks.org/33829
『カラー・ラバティ』 Kalla Rabati
写本 Parma 327, 1289 年
延べ単語数: 13,283
オンライン・ダウンロード、1894 年版
http://www.hebrewbooks.org/40939
『エステル・ラバー』 Esther Rabbah
延べ単語数: 12,227
写本 Kaufmann 495, 15 世紀
『セフェル・ハイェツィラー』 ¹⁶ Sefer Hayetsira
写本 1 Codex Vatican 299, 10 世紀
写本 2 Codex Vatican 299, 10 世紀
初版本 マントヴァ版 1562 年
延べ単語数: 2, 882
『セフェル・ハラズィーム』 Sefer Harazim
写本 Kaufmann 244 (年代不詳)
延べ単語数: 11, 690

以上の表は「マアガリーム」に収録されている主な文献の一部を挙げただけである。しかし、ヘブライ文学やヘブライ語を通史として扱うための基礎資料が整えられつつあることに容易に気が付く。

7. 「マアガリーム」へのアクセス方法

「マアガリーム」へアクセスするためには、まずパソコンの言語設定に「ヘブライ語」を加える必要がある。ヘブライ語以外の言語には対応していないからである。

つぎに <http://hebrew-treasures.huji.ac.il/> へアクセスすると次のような画面に行き着く。

これが The Academy of the Hebrew Language の「マアガリーム」のトップページであるが、画面左の Registration をクリックすると申し込みフォームが現われ、これに必要事項を書いて申し込み、

¹⁶ 当初時代区分 D に分類されていたが、E に修正された。

コードネームとパスワードを登録する。1年間の使用料は米ドルにして50ドルである。

8. 「マアガリーム」の使用例

「マアガリーム」を使用していくつかの単語を調べてみることにする。

8.1 頻出度から見るヘブライ語の発展

人称代名詞 *ʾānu*

ヘブライ語の人称代名詞・1人称・複数時代区分 A, B では *ʾanākhnu* であり、時代区分 C, D では *ʾānu* が主な形となる。「マアガリーム」によれば時代区分 C の代表的文学である『ミシュナー』では *ʾanākhnu* は聖書の引用以外では一度も使われず、*ʾānu* が 56 回使われている。紀元前後を境に大きく変化が認められるのである。さらに時代区分 C の初期作品である死海文書に *ʾānu* が 17 回使われ、*ʾanākhnu* は 3 回しか使われていないことが確認できる。この結果、人称代名詞の移行はすでに紀元前に始まっていたと結論できる。このように「マアガリーム」は頻出度を証拠として、ヘブライ語の発展を追う作業を可能にしてくれるのである。

לֵב 発音 [reʔá]、意味「肺」¹⁷

身体の器官の「肺」を意味する [reʔá] という語は、聖書ヘブライ語を含む時代区分 A, B, C では使用例が認められない。ヘブライ語史上いつから使われるようになったのか、「マアガリーム」で調べて見ると、以下の『ミシュナー』の用例が最古のものと考えられる。

wehifriš ʔet hareʔá min hakkavéd.

訳： 「そして肝臓から肺を引き離す」

(『ミシュナー』、ミドット篇4章ミシュナー3)

『ミシュナー』は紀元200年に編纂された口伝伝承であるが、その中に3回使われ、この「ミドット篇」に2回用いられる。「ミドット篇」は明らかにエルサレム神殿が存在した時代の伝承を多く含むと言われる箇所である。つまり紀元70年以前の伝承を含むと考えられる。旧約聖書には「肺」という臓器を表す語が存在しないことから、紀元前後から使用され始めた公算が高い。「マアガリーム」によれば紀元1100年までの用例は185回認められ、紀元200年以降は頻繁に使われたことが

分かる。

8.2 形態と品詞の変化

meʕat 「少量」、「少し」

この語は聖書ヘブライ語では名詞、副詞、または形容詞として使われる。

meʕat maim 「少量の水」(創世記24章17節)

一見形容詞であるが、ヘブライ語の形容詞は名詞の後に置かれる。ここは名詞の前に置かれているので、名詞として用いられている。

ʔakhav ʕavad ʔet habaʕal meʕat

「アハヴは少しバアル(神)に仕えた」

(列王紀下10章18節)

yihyu yamayw meʕttim

「その日々は少なくなる」(詩編109詩編8節)

この語が時代区分 D になると、*meʕat* は副詞として6回使われるのみになり、形容詞としての働きが消滅してしまう。代わりに3種類の形容詞が出現するようになる。

maʕút (時代区分 D に 51 回)

memoʕat (時代区分 D に 50 回)

muʕat (時代区分 D に 79 回)

時代区分 D では、聖書ヘブライ語の形 *meʕat* が副詞としてのみ使われるようになり、形態変化による形容詞が数多く生まれことになる。形容詞の構文的用法がまだ確定していなかったため、同じ意味の形容詞が数種類同時平行で使用された状態を観察することができる。

9. おわりに

「マアガリーム」は、歴史上の全てのヘブライ語資料を全文データ入力し、品詞分類をし、使用例としての引用に推定年代を付してネット上に公開している。同じ単語の同じ用法が複数回認められても、そのすべてについて推定年代を付して公開している、同じ書に全く同じ言葉の使用例が100回あれば、同年代の使用例であっても100回記録されているという意味である。現在公開されているのは、2010年1月1日時点までの研究結果であるが、「マアガリーム」を使用すると、1つの単語の歴史、使用法の変化と発展、どの時代に何度使われているかという頻出度を正確に把握できるのである。これだけの情報源でありながら、

¹⁷ Sefer Hamekorot, Jerusalem, 1970, p. 9 から引用。

日本ではこれを利用した本格的な研究が未だになされていない。今後のヘブライ語研究において、「マアガリーム」が提供する情報は不可欠のものであると言える。

(2011 年 9 月 30 日受付)
(2011 年 12 月 21 日採録)